



海田西小学校  
通級指導教室だより No.8  
令和2年 11月 6日(金)

## ～本校の特別支援教育について～

本校では、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れて、特別支援教育を行っています。

これは、配慮を要する児童にだけでなく、どの児童にとっても「あると便利で、役立つ支援」を増やし、全ての児童の過ごしやすさと学びやすさを向上させようというものです。

その際、個別指導と集団指導の両面からのアプローチが必要となります。

### 個別指導

「困難」を感じている児童一人ひとりに適した支援を行う。

(特性・背景を考慮しながら)

個別の支援計画・指導計画を作成  
→全教職員間で共通理解しながら  
組織的に支援する。

### 集団指導

(発達障害やその傾向のある児童だけでなく) 全ての児童が互いの特性を理解し、助け合って、共に伸びていこうとする集団づくり。

どの子にも分かりやすい授業づくり。

2学期末個人懇談会では、担任が作成している個別の支援計画・指導計画を保護者の方に見ていただきながら、一緒に、3学期の目標や手立てを考えていきたいと思っております。

ご協力よろしくお願い致します。



発達障害のある児童の中には、特性が起因となり、さまざまな困難や失敗が重なり、意欲や自信を失っている子も少なくありません。自分には「むり！」と自己肯定感が低くなっている場合もあります。そのことを考慮して、意図的に成功体験を積み重ね、小さな変化・成長を認めて、自信をつけさせていくことが大切です。

